

プレスリリース

神戸市から世界へ羽ばたくアーティストを公募・応援「北斎と現代のサムライたち」展



【北斎と現代のサムライたち～世界へ飛び出せ！ジャポニズムグレイトアゲイン】展

日時：9月30日（土）～10月6日（金）10時～18時 入場無料

オープニングパーティ：10月1日（土）16時

展示作家：北斎 写楽 河井寛次郎 棟方志功 田川清美 牧野満徳 増山麗奈 樽谷大助

会場：拙筆屋万次郎ギャラリー 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中6丁目9番（神戸ファッショントマート3階）

主催 ジャポニズムグレイトアゲイン展実行委員会 事務局：一般社団法人ユーラシア国際映画祭

協賛：ウエストイーストプロダクション株式会社 JAPARAB General Trading LLC

「貴方も北斎!? 展覧会参加作品募集」

応募：art@eurasia-film.com 締切 2023年9月25日 搬入日：2023年9月27日（水）

作品ジャンル：サイズ、自由（ギャラリーに展示可能なサイズ） 参加料金：12000円（5点まで）

記者発表 「北斎と現代のサムライ～ジャポニズムグレイトアゲイン展開催に向けて」

2023年8月25日（金）11時～ 神戸市記者クラブ（神戸市役所16階）

登壇者：福井道明（万次郎ギャラリーマネージャー） 樽谷大助（神戸市在住映画監督） 増山麗奈（画家）

【内容】 1854年に開国をして、西洋に日本文化が伝えられると日本の浮世絵や陶芸文化の斬新さが大きな影響を与え、“ジャポニズムブーム”が起きました。特に人気を博したのは葛飾北斎でした。ゴッホやマネなどの印象派やクリムトやミシャは、日本の影響を受けました。我はゴッホになる」と語った棟方志功など東洋と西洋で相互に影響を与え合ってきました。「今一度、ジャポニズムブームを」と世界に働きかけた人物がいました。写真家の田川清美さんです。田川さんはフランスのアルザス、日本学研究所やサンマリノで「北斎と富士」展を開催し、匠の技を世界に伝える拠点を世界に作ろうと奮闘する中、今年7月に亡くなりました。田川さんの思いを繋げ「ジャポニズム グレイト アゲイン～北斎のように世界に日本の芸術を伝えよう」との思いで、アジアとヨーロッパの美術博士から北斎賞を受賞した牧野満徳や、アラブ首長国連邦で日本文化発信ギャラリーをオープンする増山麗奈など現代の作家を紹介します。

【公募展同時開催】 展示会に合わせ「我こそは現代の北斎！」と思う方の作品も募集します。必ずしも北斎の作風に縛られる必要はなく、自由な表現で、絵画、写真、立体、陶芸、映像などジャンルも問いません。応募者の作品はアンデパンダン形式無審査で会場に展示できます。また、会期中のアンケート、実行委員会の審査を経て、大賞作品はアラブ首長国でのギャラリー展示の権利が与えられます。

【展示会問い合わせ】 art@eurasia-film.com 拙筆屋万次郎ギャラリー 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中6丁目9番